

令和2年度緑のボランティア活動に関する指導者育成委員会（第1回）

1 東京都1級緑のボランティア指導者の認定について

申請のあった1名の1級指導者認定について、全会一致で了承を得た。

2 その他確認事項

No.	発言者	確認事項	東京都回答
1	高川委員	来年度こそ講座が開催できることを望むとともに、コロナの影響が長期化することを前提に、部分的なオンラインの積極的利用も検討を進めていただくことを希望します。	新型コロナウイルス感染症の終息に時間がかかることを見据え、受講生の人数を制限するなど、対応を検討します。また、オンラインによる講座の導入についても検討します。
2	高川委員	そろそろ次年度の予算要求・計画策定の頃かと思いますが、講座の見通しがどのようになるか、現段階で情報があれば委員の皆様と共有いただけると幸いです。	現時点で、令和2年度に予定していた講座と同規模で、基礎講習を実施予定です。 また、令和3年度より、指導者育成講座とECO-TOPプログラムの連携を図ることになりました。 その他、確認事項1のとおりオンライン化の検討を進めてまいります。
3	篠原委員	東京都1級緑のボランティア指導者に認定された方たちが、その後の活動において、講座で習得したこと又は認定された肩書きを有効に活用できているか、どのように活用しているか、を聞いてみたいと思いました。認定をうけるための活動実績を拝見すると、H29年度の受講生はどなたもすでに活動地や活動する団体があり、その中である程度の役割を担っている方のような効果があったかを知ることは、今後の講座運営にもプラスになるのでは、と思います。	平成29年度の受講生については、アンケートを実施し、受講による効果を集計しています。アンケート結果のうち、受講生に許可をいただいたものについては、環境局ホームページで内容を掲載しています。次年度以降の講座受講生についても、受講後の効果についてアンケートを取り、情報収集に努めてまいります。 環境局ホームページ： https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/volunteer/kyodo/volunteer/activity/leader.html
4	小野委員	活動実績申告書は自己申告によるものになっているので、「緑のボランティア指導者養成制度」との関わり（認知及び連携）を考えると、活動実績証明書をNPO若しくは活動団体から証明書（若しくは用意した書面に押印）などを発行、または証明してもらうのも方法だと考えます。	活動実績を客観的に判断できる資料の提出が可能か検討いたします。
5	柳川委員	最近、インフルエンサーという言葉が巷でもよく耳にするようになりました。緑地や自然環境保全活動についても、インフルエンサー的な活動をしてくださった方には加点制度を設けてもいいのかもしれないと思います。 たとえば、緑地活動について、里山へGOでレポートしてくれたら、〇〇点加点（もしくは活動実績として0.5日加算？）など、都の活動への協力に関しては積極的に加点してはどうでしょうか。このような広報が実を結ぶと、都内の緑地保全活動の活性化につながるのではという観点からの提案です。今回の指導者1級の審査対象者の活動も、資格取得にむけて活動に参加されていることをあわせて、里山へGOで報告してもらえたら宣伝になると思います。	指導者育成講座の普及啓発を進めていくため、里山へGO！ホームページなどで、指導者育成講座の紹介を掲載することを、今後検討していきます。